

事務事業評価調書

事務事業名	小型システム運用事業				
担当部署	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市職員(非常勤職員及びアルバイト等を含む) (内部管理システム及びそれらを利用した事務処理)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	効率的なシステムの保守・運用・管理並びに当該システムを利用することによる事務処理の効率化												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事務処理の効率化・正確化・迅速化を図る。												
(7) 事業概要	文書目録管理システム等庁内データ総合共有活用システム及び地理情報システムの円滑な運用及びパソコン、プリンタ等機器の適正な保守・管理を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大	08	中	02	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		32,897	36,332	18,889	19,289	21,064							
	人件費	職員数	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70							
		総額(B)	14,199	13,667	13,889	13,430	13,689							
	総事業費(A+B)		47,096	49,999	32,778	32,719	34,753							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		47,096	49,999	32,778	32,719	34,753						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		47,096	49,999	32,778	32,719	34,753								
財源計(C+D)		47,096	49,999	32,778	32,719	34,753								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① シーレイシステム株式会社											
			② 日本ビジネスデータプロセッシングセンター											
	主な委託内容		事務なびやパソコン等の保守・運用・管理											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 システムにおけるアプリケーション及び機器における障害発生により利用不可能時間を発生させない。	目標値	(単位:時間)	8,365.00	8,365.00	/
			実績値	(単位:時間)	8,266.00	8,305.33	
			達成度(%)		98.8	99.3	
	目標値の積算方法 本庁舎電気設備点検による停電やシステムのバックアップによる利用不可能時間を除き、利用可能であるべき時間を算出。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.05	3.99		
			一般財源(単位:千円)	6.05	3.99		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
の(3)が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	効率的なシステムの保守・運用・管理並びに当該システムを利用することによる事務処理の効率化		達成状況	安定的な運用が図られており、事務処理の効率化に寄与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市の内部事務に係るシステムの運用管理であるため、市が責任を持って行うことが適当であると考えている。本事業は、機器の賃貸借や構成機器を含めたシステム全般の保守・運用が主要な事業であり、容易にはコスト削減の実施は困難であるが、現状システムの根本的な見直しやそれに伴う機器構成・運用方法のあり方等について検討し、システム更新時を機会に実施することでコスト削減の可能性があるものと考えている。 今後については、超勤削減ソリューションやタブレット会議システムなど内部システムを拡充することで、庁内全体の事務改善を行う必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	小型システム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	95				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	情報政策室	事務事業番号	95
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、内部事務系システムであるグループウェア(事務なび)等の、サーバシステムを運用管理していくためのものであり、内部事務の効率化については年々その重要性が増しており、当該事業及びシステムは将来に亘って必要不可欠なものであると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	庁内データ総合共有活用システム整備事業				
担当部署	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市個人情報保護条例・吹田市情報セキュリティポリシー等							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 02	市民自治が育む自立のまちづくり	節 02	細節 10				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	範囲等	市職員(非常勤職員及びアルバイト等を含む) (内部管理システム及びそれらを利用した事務処理)						
	目標 (どういう状態にしたいのか)	各所属において当該システムを利用する上で必要なパソコン等機器の適正な配備						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事務処理の効率化・正確化・迅速化を図れる						
(7) 事業概要	財務会計システム等内部管理システムに利用するパソコン・プリンタ等の配置							
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 01	大事業 08	中事業 02	小事業 02	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		40,032	39,926	42,139	43,995	38,959	
	人件費	職員数	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	
		人						
	総額(B)		5,429	5,226	5,311	5,136	5,234	
	総事業費(A+B)		45,461	45,152	47,450	49,131	44,193	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0
		国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	(内訳)	市負担(D)		45,461	45,152	47,450	49,131	44,193
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		45,461	45,152	47,450	49,131	44,193		
財源計(C+D)		45,461	45,152	47,450	49,131	44,193		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他		内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 内部管理システム用(財務会計システム等 を利用できる)パソコン及びプリンタの配置	目標値	(単位:台)	1,610.00	1,790.00	1,808.00	
			実績値	(単位:台)	1,610.00	1,790.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値 の積算 方法	情報政策室所有の内部管理システム用パ ソコンの保有台数	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	28.04	27.55		
				一般財源(単位:千円)	28.04	27.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 内部管理システム用(財務会計システム等 を利用できる)パソコン及びプリンタの計画的な更新	目標値	(単位:台)	26.00	22.00	87.00	
			実績値	(単位:台)	26.00	22.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値 の積算 方法	導入後一定期間(7年間)を経過した内部 管理システム用パソコン及びプリンタの台 数	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	1,736.62	2,241.18		
				一般財源(単位:千円)	1,736.62	2,241.18		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な 場合 を示す	①	活動内容			目標			
	②	成果内容			達成 状況			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市の内部管理事務に係るシステムの運用上必要となるパソコン・プリンタ等の機器導入・更新が主な事業内容であるため、市が責任を持って行うことが適当であると考え。パソコンは、事務の効率化が強く叫ばれる現状において重要度が大きく、内部管理システムのクライアント的な役割のみならず、日常的な事務処理における必須ツールとして全庁的に認識されている。今後は小型システム運用事業においてタブレット会議システムを導入することに伴い、本事業においても機器の整備が必要になる。					

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	庁内データ総合共有活用システム整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	96				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	情報政策室	事務事業番号	96
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3) 現状分析	<p>PC及びプリンタについては、制限付き一般競争入札にて調達を行っているため、コストとしても適正な水準にて事業を実施できると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	情報通信基盤事業				
担当部名	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成10年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 02	市民自治が育む自立のまちづくり	節 02	02	00		
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	本庁舎及び出先機関を含む全庁ネットワーク 全庁ネットワークに係る情報通信網・ネットワーク機器					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新によるネットワークや通信の安定稼働					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ネットワークを利用する各システムの安定運用を図ることができる。					
(7) 事業概要	庁内LANの管理運用、本庁及び出先機関間の情報通信基盤網の管理運用、並びに関連する機器の保守						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 01	大 08 中 03 小 01		
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		104,749	93,326	96,254	169,335	163,965
	人件費	職員数	4.10	4.10	4.10	4.10	4.10
		総額(B)	千円	34,244	32,960	33,497	32,390
	総事業費(A+B)		138,993	126,286	129,751	201,725	196,979
	特定財源(C)		966	966	784	0	1,851
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	966	966	784	0	1,851
	市負担(D)		138,027	125,320	128,967	201,725	195,128
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		138,027	125,320	128,967	201,725	195,128	
財源計(C+D)		138,993	126,286	129,751	201,725	196,979	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 株式会社日立製作所				
			② シーレイシステム株式会社				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 西日本電信電話株式会社				
			①				
②							
<input type="checkbox"/> その他	内容	③					

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新によるネットワークや通信の安定稼働	目標値	(単位:時間)	8,730.00	8,730.00	8,730.00
			実績値	(単位:時間)	8,568.25	8,695.00	
			達成度(%)		98.1	99.6	
	目標値の積算方法	本庁舎電気設備点検による停電による利用不可時間を除き、利用可能であるべき時間を算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.74	23.33	23.33
				一般財源(単位:千円)	14.63	23.33	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の(3)が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	効果的なネットワークの拡充と情報通信網の適切な更新により、ネットワークを利用する各システムの安定運用を図ることができる。		達成状況	ネットワークの安定的な稼働により、各システムの安定運用が図られている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、内部管理システムを利用する上で必要となる情報通信基盤網に係る機器の賃貸借、保守、運用が主要な事業である。また、平成25年度から仮想化基盤を運用管理しており、平成28年度には人事給与システムを本基盤上に再構築する等、サーバの統合を進めている。今後も独自にサーバを調達していたものを本基盤上で構築することで、ハードウェア調達が不要となり、全体最適化が図れると考えている。また、インターネットと業務用ネットワークの切り離しを行ったことで、社会保障・税番号制度の導入に伴い強く求められているネットワークのセキュリティ強化にも対応済みである。今後は小型システム運用事業においてタブレット会議システムを導入することに伴い、本事業においてもネットワークの整備を行う必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	情報通信基盤事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	97				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	情報政策室	事務事業番号	97
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、内部管理システムを利用する上で必要となる情報通信基盤網に係る機器の賃貸借、保守、運用が主要な事業である。また、平成25年度から仮想化基盤を運用管理しており、平成28年度には人事給与システムを本基盤上に再構築する等、サーバの統合を進めている。今後も独自にサーバを調達していたものを本基盤上で構築することで、ハードウェア調達が不要となり、全体最適化が図れると考えている。また、インターネットと業務用ネットワークの切り離しを行ったことで、社会保障・税番号制度の導入に伴い強く求められているネットワークのセキュリティ強化にも対応済みである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域情報化事業				
担当部署	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市情報セキュリティポリシー等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、各種団体、企業など											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ITを効果的に活用することで、迅速・正確かつ個別要求に対応した行政情報の提供を行い市政の透明化を図る。また、行政、市民や地域、企業が持つ情報の共有化を図る。 知りたい情報を知りたい時に的確に得ることが出来る。市民、地域、行政間で情報の交流が生まれ、地域の活性化につながる。												
(7) 事業概要	ホームページの運用等、地域・市民を対象とした情報化事業。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	08	中事業	03	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,495	4,495	4,518	4,502	4,518							
	人件費	職員数	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90							
		総額(B)	千円	24,221	23,314	23,693	22,910	23,351						
	総事業費(A+B)		28,716	27,809	28,211	27,412	27,869							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		28,716	27,809	28,211	27,412	27,869						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		28,716	27,809	28,211	27,412	27,869								
財源計(C+D)		28,716	27,809	28,211	27,412	27,869								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① シーレイシステム株式会社											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
			②											
<input type="checkbox"/> その他	内容	③												
主な委託内容		インターネットデータセンター運用委託												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	設備の不具合やシステムの障害発生により本市ホームページが閲覧できない時間を発生させない。	目標値	(単位:時間)	8,760.00	8,760.00	8,760.00
			実績値	(単位:時間)	8,760.00	8,760.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	24時間×365日	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.17	3.22
				一般財源(単位:千円)		3.17	3.22
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	成果内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
			達成度(%)		0.0	0.0	
(4) 総合評価	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	ホームページの安定運用により、迅速・正確かつ個別要求に対応した行政情報の提供を行い市政の透明化を図る。	達成状況	適切な行政情報の提供により、市政の透明化の実現に寄与している。		
		今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明	<p>本事業は、地域に対する情報化を進めるための事業であり、ホームページ公開設備の運用などを行っている。当該事業については、委託により運用することで効果的な運用を確保しているものと考えている。また、クラウドによるサービスを利用することで、大災害時のサービスの継続やライフサイクルコストの低減が図れると考えている。今後はWeb上でイベント等の申込みができるような電子申請サービスを導入し、市民サービスの向上を図る必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	地域情報化事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	98				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	情報政策室	事務事業番号	98
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、ホームページ公開用設備の運用に係る事業であり、安定的なホームページの外部公開において、非常に安定した稼働実績を示している。ホームページによる市民への情報提供は今後も必要不可欠なものであることから、当該事業は将来に亘って重要性の高いものであると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	情報化推進体制整備事業				
担当部署	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	なし														
(2) 直近の改正	なし																
(3) 根拠法令等	吹田市情報化推進本部等の設置に関する規程等																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	02	細節	00										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
	範囲等	CIO及び情報化推進に係る組織、職員															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	ITガバナンスの強化															
	結果 (どのような効果が得られるのか)	戦略的に情報化を進めることができ、IT投資における価値を最大化することができる。															
(7) 事業概要	CIO補佐業務(情報化施策全般にかかる支援、システム企画・調達・評価の支援及び業務システム最適化推進支援)を通じたITガバナンスの強化																
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大	事業	08	中	事業	04	小	事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		9,000	4,320	8,811	8,776	11,880										
	人件費	職員数	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20										
		総額(B)	10,023	9,647	9,804	9,480	9,663										
	総事業費(A+B)		19,023	13,967	18,615	18,256	21,543										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
	(内訳)	市負担(D)		19,023	13,967	18,615	18,256	21,543									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
		一般財源		19,023	13,967	18,615	18,256	21,543									
財源計(C+D)		19,023	13,967	18,615	18,256	21,543											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	関電システムソリューションズ株式会社													
			②														
			主な委託内容	CIO補佐業務													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先		①													
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他		内容															

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	ITガバナンスの強化を図る。		目標	第3期情報化推進計画に沿って、CIOを中心とした戦略的な情報化推進を図る。		
	②	成果内容	戦略的に情報化を進めることができ、IT投資における価値を最大化する。		達成状況	ITガバナンスの強化や第3期情報化推進計画に沿った、戦略的な情報化の推進が着実に進んでいる。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		当該事業は本市のITガバナンスの強化という目標を達成するための手段としての事業であり、その具体的な目標としての「IT投資効果の最大化」が達成できるための体制整備にあたり重要な位置を占めている。今後についてはその具体的な成果について、PDCAサイクルに基づき検証を行っていきながら、継続して取り組んでいきたいと考えている。今後は、さらなるITガバナンスの強化、また情報政策室が企画部門としての役割を果たしていくために、CIO補佐機能についても強化を行っていく。					

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	情報化推進体制整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	99				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	情報政策室	事務事業番号	99
-----	-------	--------	----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>Radar Chart Data</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>当該事業は本市のITガバナンスの強化という目標を達成するための手段としての事業であり、その具体的な目標としての「IT投資効果の最大化」が達成できるための体制整備にあたり重要な位置を占めている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	共通基盤システム事業				
担当部名	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	住民基本台帳法、税法、吹田市個人情報保護条例、吹田市情報セキュリティポリシー等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	新基幹系システムを利用する職員等(新基幹系システムに係る事務処理)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民課等関係各課における事務処理が適切に行える新基幹系システムを運用する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	迅速で正確な事務処理が実現され、効率化が図られる。												
(7) 事業概要	基幹系システムにおいて共通機能などを管理する共通基盤システムの運用及び社会保障・税番号制度への対応													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	08	中事業	05	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		706,972	684,779	406,688	390,548	307,745							
	人件費	職員数	人	2.15	2.15	2.15	2.15	3.35						
		総額(B)	千円	17,957	17,284	17,566	16,986	26,975						
	総事業費(A+B)		724,929	702,063	424,254	407,534	334,720							
	特定財源(C)		14,986	36,928	19,671	0	30,119							
	(内訳)	国	14,986	36,928	0	0	2,925							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	19,671	0	27,194							
	市負担(D)		709,943	665,135	404,583	407,534	304,601							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		709,943	665,135	404,583	407,534	304,601								
財源計(C+D)		724,929	702,063	424,254	407,534	334,720								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日本電気株式会社										
			②											
			③											
	主な委託内容		新基幹系システム(共通基盤システム)運用											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 完了工程数	目標値	(単位:工程)	24.00	8.00	0.00	
			実績値	(単位:工程)	24.00	10.00		
			達成度(%)		100.0	125.0		
	目標値の積算方法	共通基盤システム開発に係る全41工程のうち、当該年度までに完了した工程の数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		29,252.63	40,811.40	
				一般財源(単位:千円)		27,713.96	40,811.40	
	②	指標内容 共通基盤システムの故障や大規模なネットワーク障害等の発生に起因するシステム利用不可能時間を発生させない。	目標値	(単位:時間)	0.00	2,160.00	8,760.00	
			実績値	(単位:時間)	0.00	2,159.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
目標値の積算方法	共通基盤システムの稼働時間。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	189.03		
			一般財源(単位:千円)		0.00	189.03		
(2) 成果指標	①	指標内容 稼働システム数	目標値	(単位:システム)	15.00	4.00	0.00	
			実績値	(単位:システム)	15.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	共通基盤システム上で稼働予定の全19システムのうち、当該年度に稼働を開始したシステムの数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		46,804.20	102,028.50	
				一般財源(単位:千円)		44,342.33	102,028.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は、住民基本台帳法や税法等に基づく事業など市民サービスの根幹をなす基幹系システムの共通基盤システムに係る事業である。平成29年1月より本格稼働しており、今後も関係室課や開発事業者と協力しながら、安定的な運用を継続し、また社会保障・税番号制度への対応も行う必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	共通基盤システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	100				

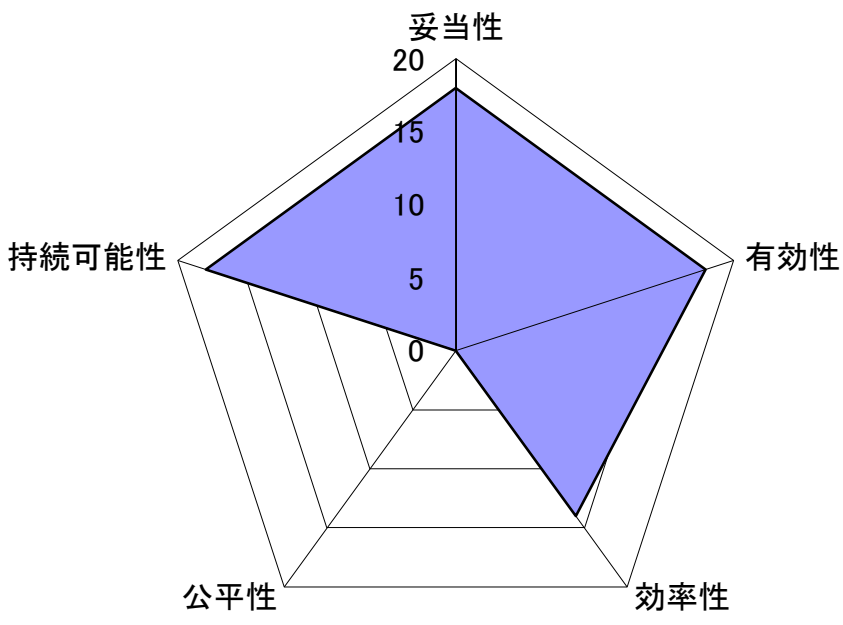
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	情報政策室	事務事業番号	100
-----	-------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は吹田市の基幹系システムを運用するものであり、市民サービスの根幹をなすものである。サービスの質を落とさずに社会保障・税番号制度への対応やコストの削減などの課題にも取組むことが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

社会保障・税番号制度への対応については、特に国の動向を注視する必要がある、通知・ガイドライン等の確認を怠らないよう、対応を進める必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	空調機管理事業				
担当部名	行政経営部	室課名	情報政策室	室課長名	相川 勝徳

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市個人情報保護条例・吹田市情報セキュリティポリシー等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	情報政策室を利用する市職員(非常勤及びアルバイトを含む)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	空調機な正常な運転により、本庁舎9階及び8階の各事務室の環境を整える。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本庁舎9階及び8階の各事務室の環境が整い、機器が正常に稼働する。												
(7) 事業概要	本庁舎9階及び8階の各事務室空調機の維持保守及び更新													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	08	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,485	1,241	5,036	3,179	261							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		2,321	2,045	5,853	3,969	1,067							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,321	2,045	5,853	3,969	1,067							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,321	2,045	5,853	3,969	1,067								
財源計(C+D)		2,321	2,045	5,853	3,969	1,067								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社日立システムズ										
			②											
			③											
	主な委託内容		事務室空調機の維持保守及び更新											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 保守対象空調機	目標値	(単位:台)	18.00	15.00	/
			実績値	(単位:台)	18.00	15.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	保守対象空調機台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	113.61	266.40	
				一般財源(単位:千円)	113.61	266.40	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 更新対象空調機	目標値	(単位:台)	2.00	6.00	/
			実績値	(単位:台)	2.00	6.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	更新対象空調機台数(更新スケジュール及び故障機器)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,022.50	666.00	
				一般財源(単位:千円)	1,022.50	666.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本業務は本庁舎9階及び8階の各事務室空調機の管理業務となるため、市が責任を持って管理運用することが適当であると考えている。環境を整えるため、定期点検及び更新スケジュールに基づく更新を実施する。				

事務事業分析シート

所属名	情報政策室	事業名	空調機管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1398				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	情報政策室	事務事業番号	1398
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本業務は本庁舎9階及び8階の各事務室空調機の管理業務であるが、更新については、入札を実施し、経費の適正化に努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)